

作成日 2019/02/05  
改訂日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ガラスうろこ取りクリーナー  
会社名 株式会社MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX番号 0120-289-888  
整理番号 M190205

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康有害性 発がん性 区分1A  
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き

危険  
H350 発がんのおそれ

#### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

#### 応急措置

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)

#### 保管 廃棄

施錠して保管すること。(P405)  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	30.0~40.0%	不明	不明	不明	7732-18-5
軽石粉末	30.0~35.0%	不明	不明	不明	1332-09-8
ベントナイト	5.00%	不明	不明	不明	1302-78-9
結晶性シリカ	0.050~0.60%	不明	(1)-548	シリカ	14808-60-7、 14464-46-1
希土類混合酸化物	5.00%	不明	不明	不明	不明

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

### 4. 応急措置

吸入した場合

吸入して気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。  
呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断を受けること。  
呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。  
呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合

吸入の影響が遅れて現れることがある。  
上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。  
毒性・刺激性はほとんどないが、液が付着したところを良く洗うこと。  
直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところを良く洗うこと。  
衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹼でよく洗うこと。  
皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。  
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

眼に入った場合

清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄続ける。

飲み込んだ場合

直ちに水で口の中を洗浄する。  
直ちに医師の診断を受けること。  
無理に吐かせないこと。  
子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

特有の消火方法(周辺火災の場合)

消火作業は、可能な限り風上から行なう。  
関係者以外は安全な場所に退去させる。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。  
・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす化学物質が流出しないよう適切な措置を行う。  
消火を行う者の保護・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。  
消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること  
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する  
作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
 スコップ、電気掃除機、ほうき等で掃き集め密閉できる空容器に回収する。  
 回収後の少量の残留分はウエスまたはおがくず等に吸収させる。  
 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止策

漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意  
取扱い

技術的対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
 製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 粉じんを吸入しないこと。  
 取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合には粉塵を吸入しないように洗濯をすること。

安全取扱注意事項

ポリッシャー使用時に、乾燥した研磨粉を吸い込まないよう、防塵マスクを着用して作業すること。  
 容器はその製品の乾燥を防ぐため、都度、密栓する。

保管

安全な保管条件

製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。  
 直射日光を避け、密栓をして冷暗所に保管すること。  
 施錠して保管すること。  
 酸と一緒に保管してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
水	未設定	未設定	未設定
ベントナイト	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 2mg/m <sup>3</sup>	未設定
軽石粉末	未設定	未設定	未設定

設備対策

取扱い場所の近くに手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。  
 屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋、ゴム手袋、ビニール手袋等を着用すること。

眼の保護具

必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用すること。  
 保護メガネ(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

長袖、長ズボン作業衣(材質指定なし)を使用する。

適切な衛生対策

保護具等は定期的に点検を行う。

9. 物理的及び化学的性質  
外観

物理的状態  
形状

固体  
ペースト

臭い 臭いのしきい(閾)値	色	ベージュ 無臭 データなし
pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲		9.5(10wt%水溶液) データなし 136.0000℃
引火点 蒸発速度 燃焼性(固体、気体)		引火せず データなし データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧 蒸気密度 比重(密度) 溶解度 n-オクタノール／水分配 係数		データなし データなし データなし 水にて懸濁液となる にて懸濁液となる。 データなし
自然発火温度 分解温度 粘度(粘性率) 動粘性率		データなし データなし データなし データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性		情報なし 通常の取扱においては安定である。 情報なし
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物		情報なし 情報なし 情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		(呼吸器感作性)
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
発がん性 生殖毒性		区分1Aの成分が0.5%のため、区分1Aに該当。 (生殖毒性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
水生環境有害性(長期間)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		交換廃液、内容物/容器の廃棄の際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに業務委託して処理をすること。 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、値面や排水溝にそのまま流さないこと。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code.	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コ ードによるばら積み輸 送される液体物質	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

水質汚濁防止法  
海洋汚染防止法  
外国為替及び外国貿易法

結晶質シリカ(政令番号:165の2)(5%未満)  
指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)  
有害でない物質(施行令別表第1の2)  
輸出貿易管理令別表第1の16の項

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

じん肺法

法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報  
参考文献

製造元メーカー提供資料  
NITE GHS分類結果一覧  
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報  
の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス  
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム  
「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、  
取扱いには十分注意して下さい。